

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成				
重点努力事項	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。				
分掌重点目標	安心・安全で快適な学校生活の実現				
柱となる活動	活動へ向けての努力事項 Do	到達目標	評価基準 Check	成果と課題 Do & Check	来年度への提言 Action
みずから学ぶ活動	◎学校内にある設備・備品の適正な管理と運用を行う ①毎月の安全点検の徹底 ・点検しやすい新たな区割り ・管理責任者による点検を長期休業中に取り入れる。 ②備品点検の完全実施 ③オリエンテーションで設備備品の使用についての注意喚起を行う ◎生徒の安全意識や省エネ意識の向上 ①節電・節水の呼びかけ ②防災グッズを使用した訓練の実施 (納入後、実施時期を含め検討)	教員が学校設備の適切な運用に努める	毎月の安全点検に挙がる修理の必要な箇所5箇所以内 故意による修繕費0円 使用量昨年比3%減 教職員質問紙「避難訓練など防災へのマネジメントは適切である」肯定的評価90%以上		
みずから鍛える活動	◎危機管理に対する教職員の意識の向上を図る ①データ管理の徹底 ・公文書の管理 ②危機管理マニュアルの弾力的改定	教員が危機管理の各種マニュアルに沿った行動をとることができる	教職員質問紙「個人情報の保護に配慮した事務処理を推進している」肯定的評価90%以上		
みんなと生きる活動	◎学校教育目標に向けて、適切な教育課程の編成と運用を図る ①週案の更なる改善 ②授業時間数確保の断行 ◎各分掌・学年が働きやすい職場環境をつくる ①整理整頓 ・職員室・机上・更衣室 ・教室・備品管理 ②会議日、テスト期間を利用して早く退勤するように努める ③校務の情報化の推進 ・指導要録の電子化 ・情報機器の更なる整備と積極的活用をめざす	教員がゆとりを持って職務に取り組むことができる	教職員質問紙「授業時間の確保がなされた」肯定的評価90% 規定授業時数の100%実施 教職員質問紙「ゆとりを感じる事ができる」50%以上		